

英語で読む人気の本

~ 自然に日常会話が身につく

J・K・Rowling著『ハリー・ポッターシリーズ』 SCHOLASTIC

英

語で本を読もうとする時、“ちよつとむりかなあ”という気持ちになる理由は色々あると思います。例えば、単語が分からないので辞書をひきながら読むと疲れる。読むスピードが遅くて、話が面白くない。話が難しくてついていけない! など。英語で本を読むというのは大変なエネルギーを必要とするのだと思います。

“それなのはどうして読むの?”という質問がでくると思いますが、私は英語で本を読むことは、別の世界に触れることだと思えます。それは映画を吹き替えではなく直接英語で聞いて、少し分かったときの感動や、英語を話す人の世界に触れた時の喜びと驚きに似ています。ですから皆さんにも是非挑戦して欲しいと思います。

英語の本を選ぶ場合、色々な方法があると思いますが、例えば以下の点を満たしていることでしょうか。

1. ストーリーを多少知っていて興味がある。
2. ビデオ、CD、映画等で見たり、聞いたりする事ができる。



3. 和訳が手に入る。
この点から私は世界中を魅了したハリー・ポッターシリーズをお勧めします。話は決して短くありませんが、単語は難しくありません。主人公達の会話も生き生きとしていて本を読んでいると自然に日常会話が身につく感じですが、もし全部読むのが大変になったら、知っている箇所のみを読むのでも良いと思います。とにかく少しでも読む習慣をつけることが大切だと思います。さあトライしてみましよう!



岡村 晃子 (おかむら・あきこ)

経済学部助教授。

1999年より高崎経済大学で英語を担当。それ以前は、1991年から1999年まで英国ニューカッスル大学で日本語専任講師。2000年にニューカッスル大学より応用言語学で博士号(Ph.D.)取得。主な専門分野は社会言語学、語用論。